

5. 玉野地区

(1)玉野地区の地勢と人口の推移

北西端の北郷、鶴巻田、原田、上柳渡戸(栗生)、下柳渡戸の集落が丹生川による平野と段丘(尾花沢盆地)上に展開し、北東には国道347号沿いに母袋、南東には銀山温泉に向けて上柳渡戸(寺町)、銀山新畑の集落が連なるように形成されています。

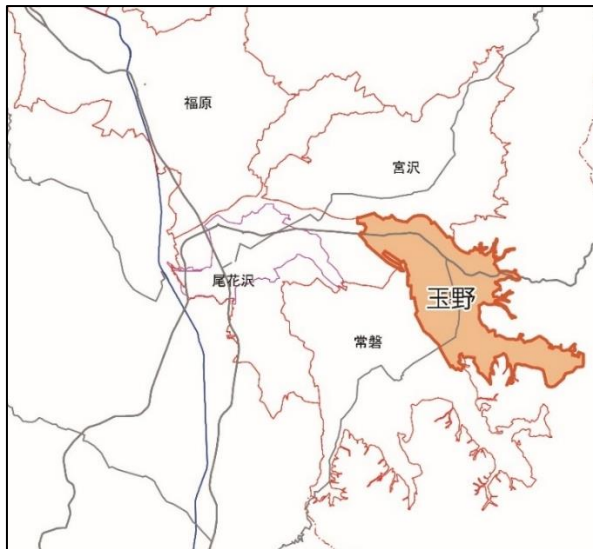


図 玉野地区位置図

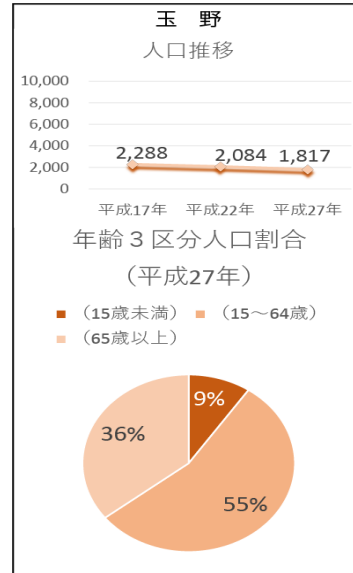


図 人口推移と年齢3区分人口割合

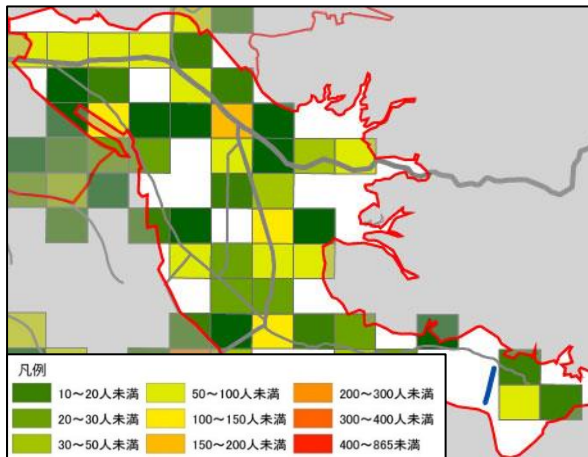


図 500m人口メッシュ

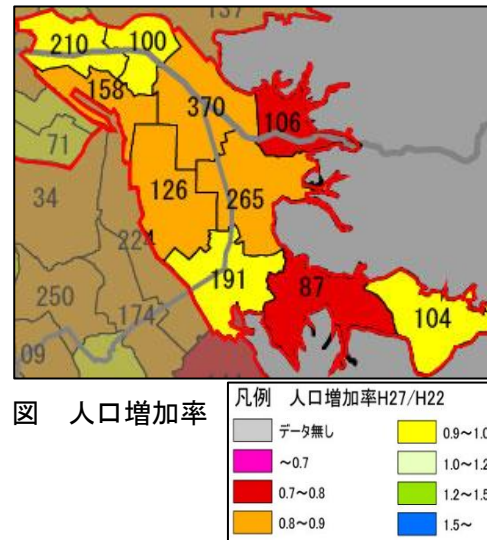


図 人口増加率

<人口推移の状況>

玉野地区は5地区の中で最も人口が少ないですが、老年人口の割合が尾花沢地区に次いで低くなっています。山間部に近い母袋、上柳渡戸(寺町)において人口減少が顕著です。

(2)玉野地区の特性と現況について

(玉野地区の特性)

・玉野地区は主に一般国道347号沿線や主要地方道尾花沢関山線沿いに集落が形成されています。鶴巻田に公民館や学校、保育施設等の主要な施設が集約されており、地区内における拠点的な集落となっています。本地区は、本市観光拠点の一つである美しい雪景色や大正ロマンあふれる歴史的な家並みで有名な銀山温泉を有しています。一般国道 347 号のバイパス化を含めた改良整備と 24 時間通年通行に向けた安全通行の取り組み強化の事業要望を継続し、今後更に円滑なアクセス環境を整備することで、災害時物流ルートの確保や観光交流人口の拡大を図っていく必要があります。また、地区内にはニツ森やブナ共生の森等の豊かな自然が広がっています。

(主要施設・交通インフラ・自然環境・防災)

・鶴巻田に地区公民館、上柳渡戸に上柳健康増進施設があり、地域コミュニティの中心となっています。また、本市の観光拠点である銀山温泉があります。生活関連の施設は、鶴巻田、下柳渡戸を中心に商業施設が立地しており、鶴巻田に教育施設として玉野小学校、保育施設として玉野保育園があります。

・市街地と宮城県を結ぶ広域軸の一般国道347号、常盤地区を結ぶ主要地方道尾花沢関山線、銀山温泉につながる一般県道銀山温泉線が地域の骨格道路です。また、主要道路沿線にバス路線があり、各集落において概ねバスの利用が可能です。

・丹生川の河岸段丘には美しい田園景観が広がり、寺町周辺にはブナ共生の森があります。また、観光拠点となっている銀山温泉には大正ロマンを彷彿とさせる家並みが形成されています。

・丹生川流域の農地周辺を中心に洪水浸水区域があり、観光拠点である銀山温泉を中心に土砂災害の危険性のある区域が広がっています。

(3)まちづくりの目標と方針

●まちづくりの目標

「国道 347 号を活かした観光交流とにぎわいのまちづくり」



<まちづくりの方針>

- ①各集落と鶴巻田を結ぶ交通ネットワークの形成と空き公共施設の利活用
- ②宮城県を結ぶ一般国道347号の機能強化と市街地を結ぶ利便性の高い公共交通の整備
- ③一般国道347号を起点とした銀山温泉までの観光交流ルートと災害時の物流ルート構築
- ④丹生川周辺の洪水浸水区域と地区内の土砂災害警戒区域における適切な防災対策

①鶴巻田と各集落を繋ぐ交通ネットワークの形成

- ・玉野地区は、鶴巻田に地区公民館、商業施設、教育施設、保育施設等が集約されており、地区内における中心的な集落となっています。地区内において交流や生活の維持が図られるよう、鶴巻田と各集落を結ぶバス、タクシー等を活用した地区内を循環する交通ネットワークの形成を図ります。また、玉野地区公民館(旧玉野中学校)を始めとした空き公共施設の活用等を検討し、地域の活性化を図ります。

②一般国道347号の機能強化と利便性の高い公共交通の整備

- ・一般国道347号については、骨格道路としてバイパス化等の検討を進めるとともに、冬期間の夜間通行が可能となるよう、関係機関と引き続き協議を進めます。また、市街地を結ぶ利便性の高い公共交通の整備を推進するとともに、他地区を結ぶ道路交通網の維持を図ります。

③一般国道347号を起点とした観光交流ルートと災害時物流ルートの構築

- ・宮城県側からの観光集客の強化と災害発生時の物流ルートの確保を図るため、一般国道347号のバイパス化の検討を進めます。合わせて観光の面については、鶴巻田～銀山温泉までのわかりやすいルート表示を実施し、銀山温泉を中心とした本市におけるさらなる観光交流人口の拡大を図ります。また、徳良湖や花笠高原の観光拠点との連携を強化し、市内観光周遊ルートの構築を進めます。

④丹生川沿岸の農地の保全と銀山温泉内の土砂災害防止対策の継続的实施

- ・丹生川沿岸を中心に、洪水浸水区域が広がっていることから、関係機関と連携しながら適切な洪水浸水対策を進め、優良農地の保全を図ります。また、観光拠点にもなっている銀山温泉周辺の土砂災害防止対策を関係機関と連携しながら、継続して実施していきます。

